資料２

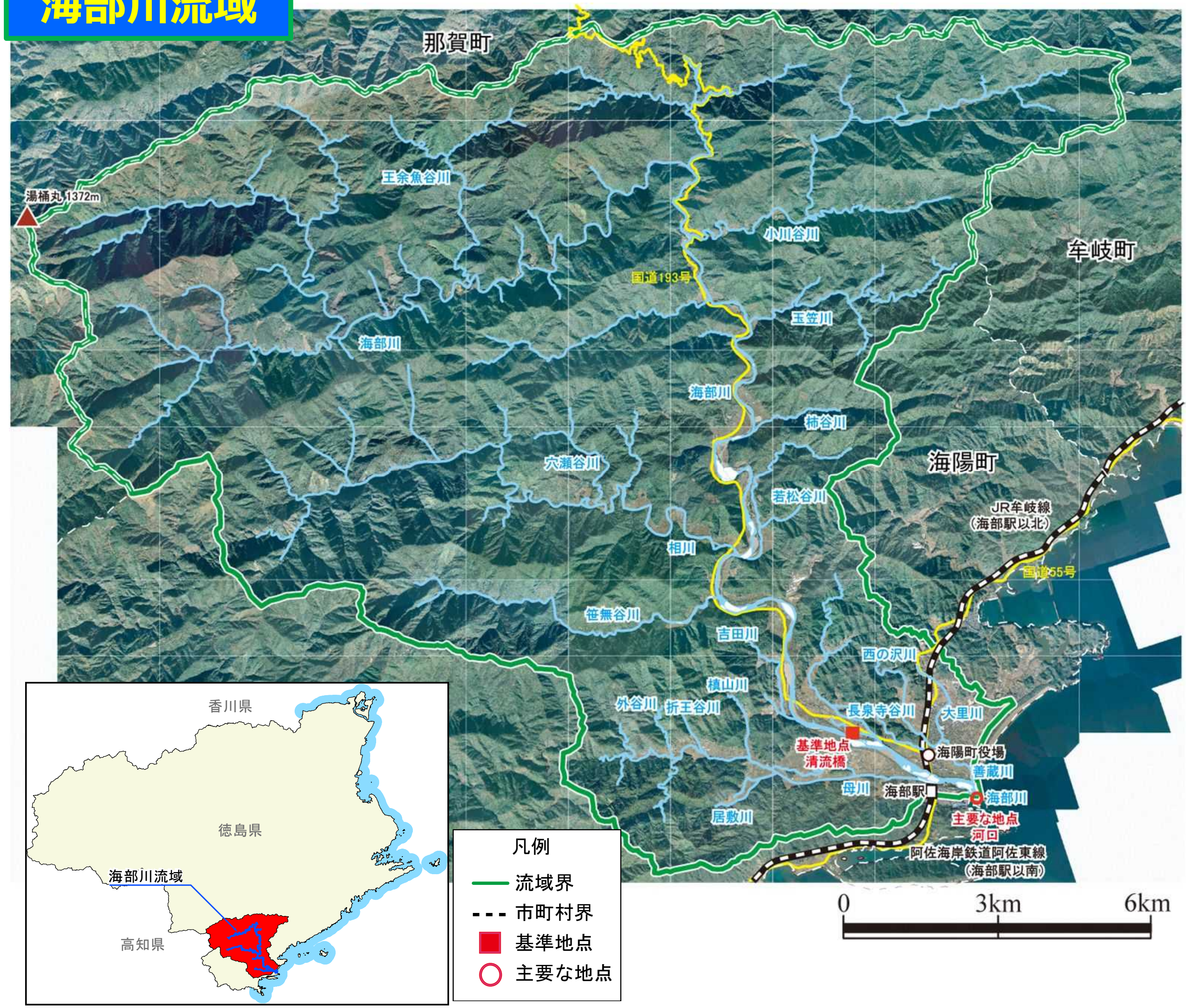
新時代へ
躍り出そう
Sustainable AI 藍 Land
TOKUSHIMA

海部川水系河川整備計画（変更）について

令和８年３月

徳島県 河川政策課

海部川流域



水系内の河川	：19河川
総流域面積	：206km^2
河川延長	：36km
流域内市町村	：海陽町
流域内人口(R2)	：約5,200人
年平均雨量	：約3,200mm
流域の主な産業	：林業、養鶏、園芸等

海部川河口部(R8)

海部川（鮎釣り）

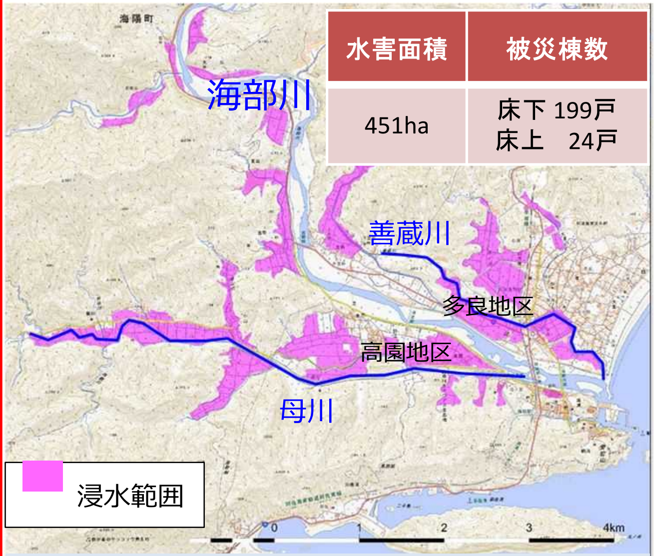
母川（ほたる祭り）

主な洪水被害と治水計画

西暦	和暦	気象原因	河川名	被害状況	出典
1892	明治25/7/25	台風	―	豪雨により保瀬地区で大崩壊が起こり、海部川を堰き止め、寒ヶ瀬一帯が濁流に襲われた。この豪雨による崩壊で埋没4戸、流失8戸、死者47人の被害が発生した。	海南町史
1949	昭和24/8/17	ジュディス台風	―	豪雨により海部川は大洪水となり、濁流は堤防を越えて氾濫し、鞆奥中学校地が冠水した	海部町史
1950	昭和25/8/6	豪雨（海部川大洪水）	―	家屋全半壊15戸、流出17町余りの被害が発生した。	海南町史
1950	昭和25/9/3	ジェーン台風	―	海部郡全体で死者1名、軽傷8名，全壊22棟，半壊153棟，床下浸水598棟，床上浸水212棟の被害が発生した。	徳島県 自然災害誌
1961	昭和36/9/16	第二室戸台風	―	海部郡全体で傷者5名、全壊17戸、半壊96戸、床上287戸、床下621戸の被害が発生した。	徳島県 自然災害誌
1965	昭和40/9/10～9/17	台風23，24号	海部川，母川，善蔵川	水害区域面積555ha，被災家屋は床下浸水270棟，床上浸水133棟，全壊流出1棟の被害が発生した。	水害統計
1966	昭和42/10/27	台風21号	母川	水害区域面積83ha，被災家屋は床下浸水13棟，床上浸水3棟の被害が発生した。	水害統計
1968	昭和43/7/28～7/29	台風4号	海部川，善蔵川	水害区域面積105haの被害が発生した。	水害統計
	昭和43/8/28～8/29	台風10号	母川，富田川，善蔵川，鞆浦	水害区域面積240.8ha，被災家屋は床下浸水20棟の被害が発生した。	水害統計
1970	昭和45/8/13～8/23	台風9，10号及び集中豪雨	海部川，母川	水害区域面積120haの被害が発生した。	水害統計
1971	昭和46/8/27～9/13	台風23，25，26及び梅雨前線豪雨	海部川，母川，富田川，長泉寺谷川，善蔵川	水害区域面積405ha，被災家屋は床下浸水132棟，床上浸水13棟の被害が発生した。	水害統計
1974	昭和49/7/1～7/12	台風8号と豪雨	善蔵川	水害区域面積200haの被害が発生した。	水害統計
	昭和49/8/17～9/10	台風14，16，18号	善蔵川	水害区域面積1haの被害が発生した。	水害統計
1976	昭和51/9/7～9/14	台風17号と豪雨	海部川、善蔵川、母川	水害区域面積188.9ha，被災家屋は床下浸水6棟の被害が発生した。	水害統計
1977	昭和52/5/28～7/21	豪雨	母川	水害区域面積61haの被害が発生した。	水害統計
1988	昭和63/8/9～8/31	豪雨	七川、善蔵川	水害区域面積3ha，被災家屋は床下浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
1990	平成2/10/1～10/8	豪雨，台風21号	小川谷川、七川、善蔵川	水害区域面積8ha，被災家屋は床下浸水2棟，床上浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
1993	平成5/11/10～11/15	豪雨及び風浪	海部川、王余谷川、七川	水害区域面積27ha，被災家屋は床下浸水10棟，床上浸水1棟の被害が発生した。	水害統計
1998	平成10/5/15～5/17	豪雨	海部川、善蔵川、母川、吉田川、相川	水害区域面積60ha，被災家屋は床下浸水83棟，床上浸水3棟の被害が発生した。	水害統計
2003	平成15/5/27～6/1	台風4号	海部川	水害区域面積80m2，被災家屋は床下浸水1棟の被害が発生した。	水害統計
	平成15/11/27～11/30	豪雨	海部川、善蔵川	水害区域面積1887m2，被災家屋は床下浸水9棟の被害が発生した。	水害統計
2004	平成16/7/29～8/3	台風10号及び豪雨	海部川	水害区域面積1269m2，被災家屋は床下浸水2棟，床上浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
2011	平成23/8/25～9/5	台風12号	海部川	水害区域面積1.3ha，被災家屋は床下浸水5棟の被害が発生した。	水害統計
2014	平成26/7/29～8/12	台風12号・11号及び豪雨	海部川	水害区域面積450.99ha，被災家屋は床上24棟、床下浸水199棟の被害が発生した。	水害統計
2015	平成27/7/15～7/23	台風11号及び豪雨	海部川	水害区域面積0.02ha，被災家屋は床下浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
2016	平成28/9/17～9/21	台風16号及び豪雨	母川	水害区域面積0.01ha，被災家屋は床下浸水1棟、床上浸水1棟の被害が発生した。	水害統計
2021	令和3/9/1～9/9	豪雨	海部川、母川、善蔵川	水害区域面積38.52ha，被災家屋は床下浸水28棟、床上浸水13棟の被害が発生した。	水害統計

善蔵川：大里川、西ノ沢川を含む、母川：居敷川を含む

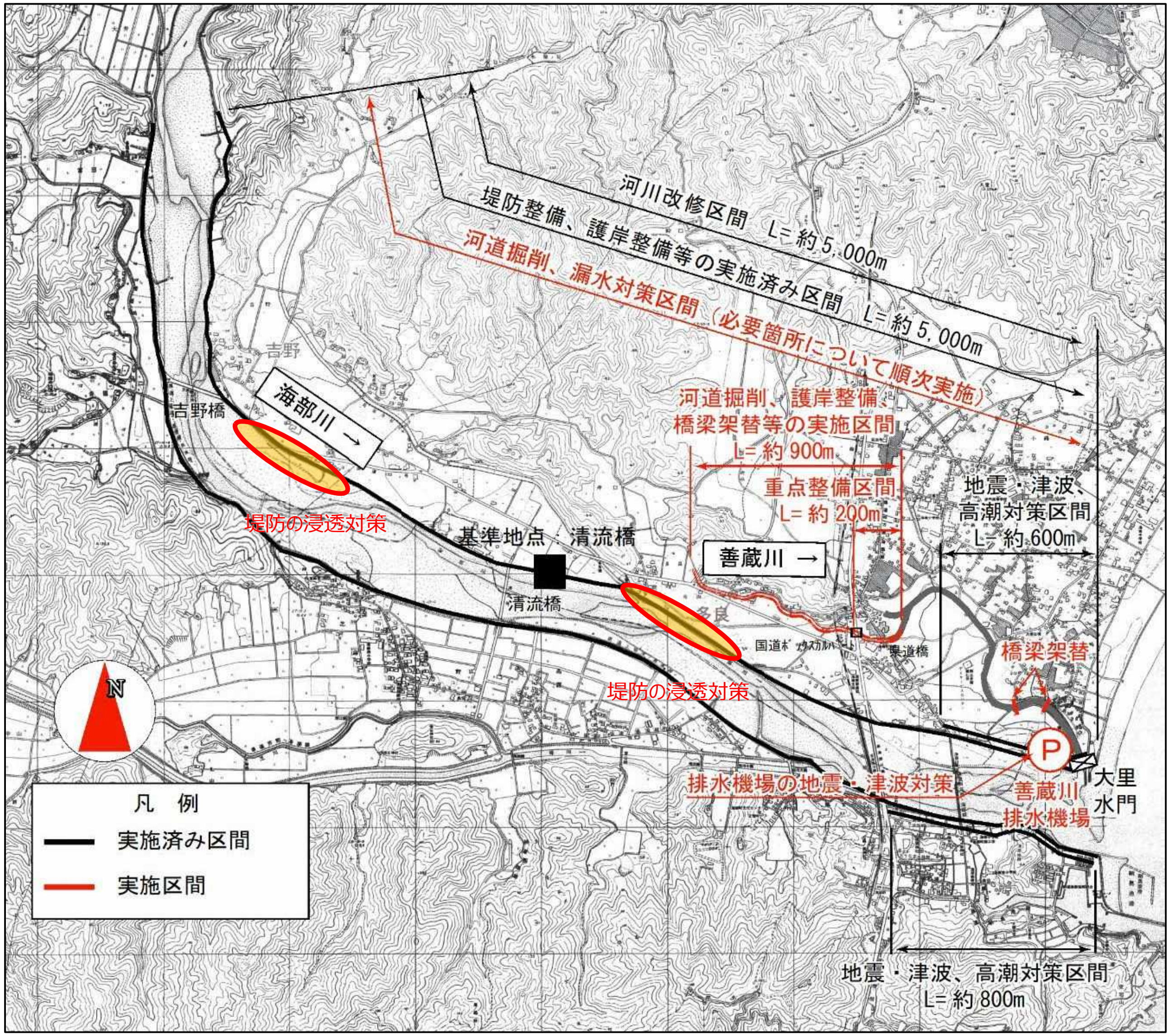
時期	河川名	治水計画
昭和24年	海部川	中小河川改修事業
昭和46年	支川　母川 支川　長泉寺谷川	中小河川改修事業
昭和51年	支川　善蔵川	河川局部改修事業
昭和59年	支川　居敷川	河川局部改修事業
平成９年11月	海部川	工事実施基本計画
平成27年７月	海部川水系	河川整備基本方針
平成27年12月	海部川水系	河川整備計画
令和３年４月	海部川水系	河川整備計画（変更）



平成26年8月洪水台風第12号の浸水範囲

多良地区

高園地区



◆河川工事の種類及び実施場所

河川名	実施区間	実施延長	実施内容
海部川	河口(0K000)～吉田地区(5K000)	約5,000m	河道掘削 堤防の浸透対策
海部川	河口(0K000)～国道橋付近（0K800）【完】	左岸： 約600m 右岸： 約800m	地震･津波, 高潮対策
善蔵川	県道橋付近（1K400）～町道橋付近（2K300） 重点区間： 県道橋付近～一般国道55号ボックスカルバート	約900m	河道掘削, 護岸整備 橋梁架替等
善蔵川	善蔵川排水機場, 大里水門【完】	－	排水機場の 地震･津波対策

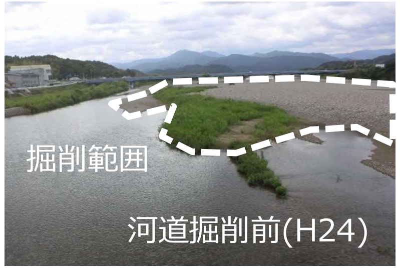
河道掘削・樹木伐採

事業の概要

海部川では、築堤護岸等の河川整備が完了しています。
洪水を安全に流すため、河道掘削及び樹木伐採を
計画しています。

実施と達成

H27～R6に、河道掘削（約15万m^3）樹木伐採（約12ha）
等を実施しています。



今後の予定

必要な流下断面の確保及び向上を目指し、引き続き、必要な
対策を実施します。

堤防の浸透対策

事業の概要

漏水が発生しており、氾濫を防止するため、堤防強化を計画しています。

実施と達成

H25～H30に堤防の浸透対策（L=770m）を実施しています。

今後の予定

必要な堤防強化対策（漏水）は完了しています。
今後、堤防漏水が発生した場合、必要な対策を実施します。

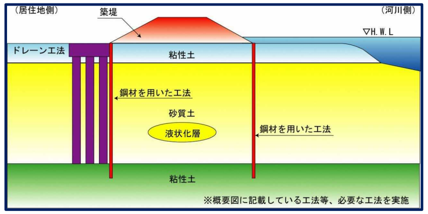
堤防の耐震対策

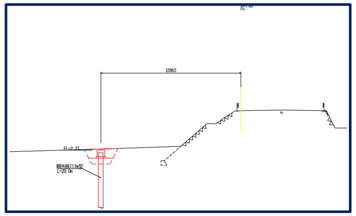
事業の概要

海部川では、堤防の耐震対策を計画しています。

実施と達成

H26～H29に耐震対策（L=1,400m）を実施しています。





今後の予定

現時点で、必要な堤防の耐震対策は完了しています。
今後、調査や研究を踏まえ、対策を実施します。

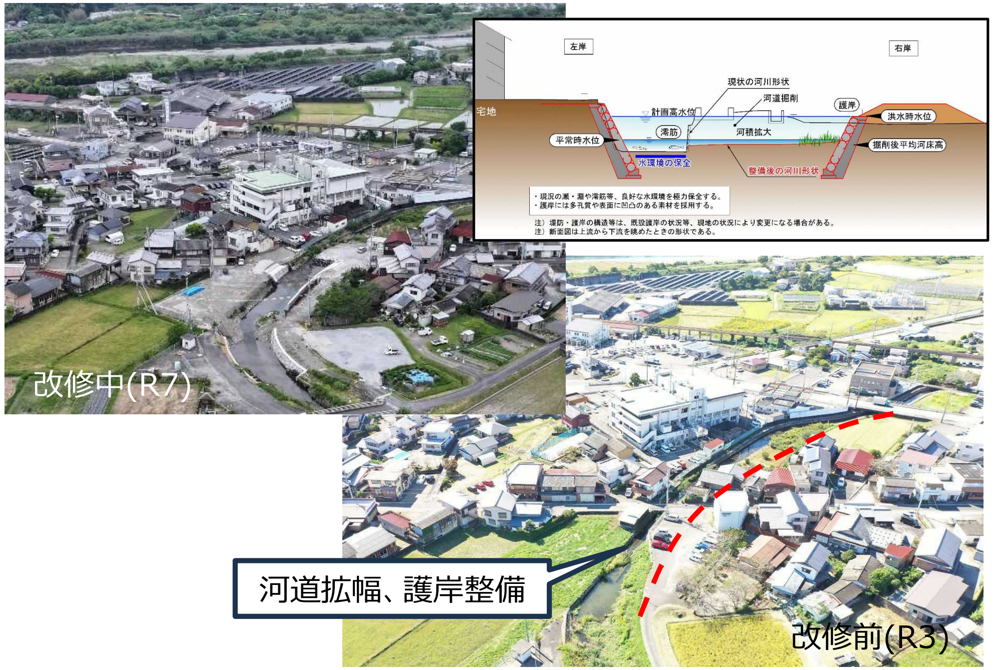
河川改修（善蔵川）

事業の概要

善蔵川は、河道が狭小で浸水被害が度々生じており、
河道拡幅、護岸整備を計画しております。

実施と達成

R4から河川改修を実施し橋梁を掛替えしております。



今後の予定

未改修区間の河道拡幅・護岸整備を実施します。

内水対策（１）

事業の概要

海部川では、内水被害の著しい地区について、被害を軽減するための内水対策を計画しています。

実施と達成

内水排除用のポンプ（1.0m³/s）を増設しています。

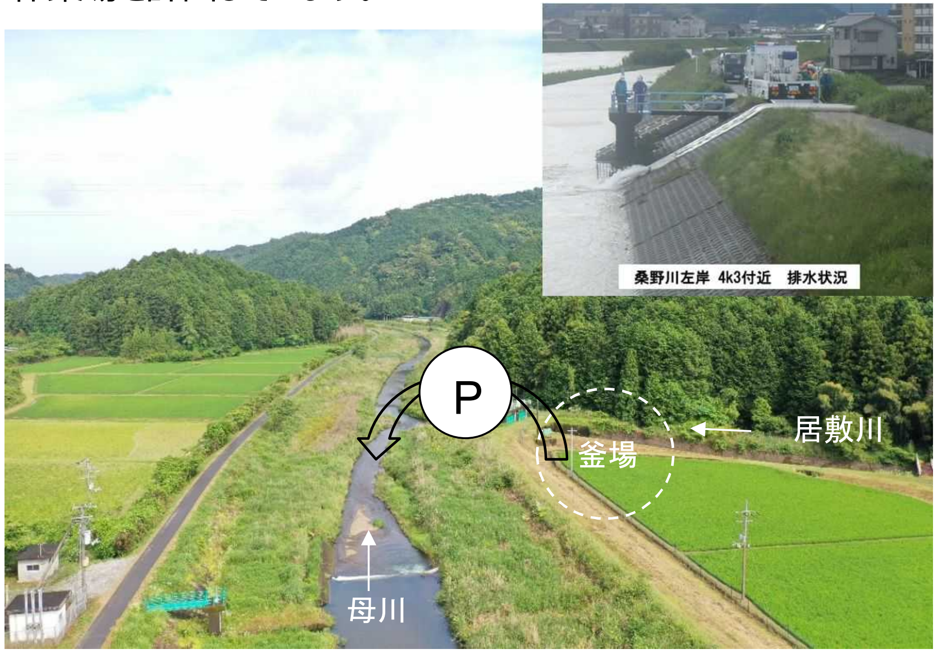
今後の予定

早期完成を目指します。

内水対策（２）

事業の概要

内水被害実績等を考慮し、排水ポンプ車及びクレーン車等の作業場を計画しています。



維持管理（１）

事業の概要

堤防や護岸については、洪水、津波、高潮時にその機能が発揮されるように、洗堀、護岸の亀裂といった施設の損傷や劣化等の変状が確認された場合は、必要に応じて補修等の対策を行います。

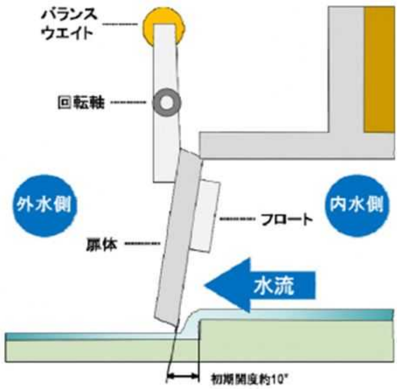
排水機場や樋門など河川管理施設については、長寿命化計画に基づき、計画的に修繕します。

実施と達成

河川管理施設の機能を確保するため、護岸修繕、樋門自動化、排水機場の修繕などを実施しています。

＜護岸の修繕（小川谷川）＞

＜樋門の無動力化＞



＜排水機場の長寿命化＞

整備（部品交換等）

今後の予定

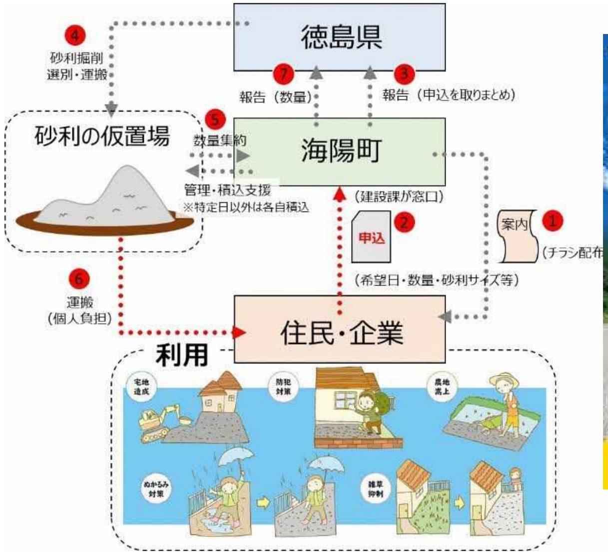
あらゆる災害を対象に、河川管理施設の機能が確保できる対策を実施します。

維持管理（2）

事業の概要

海部川では、異常な砂利堆積に伴う河川管理に係わる様々な課題を解消するため、「海部川モデル」と称した地域住民、民間企業、学識者、行政機関等の連携による堆積砂利対策を実施しています。

【海部川モデルの一例（Bゾーン）】

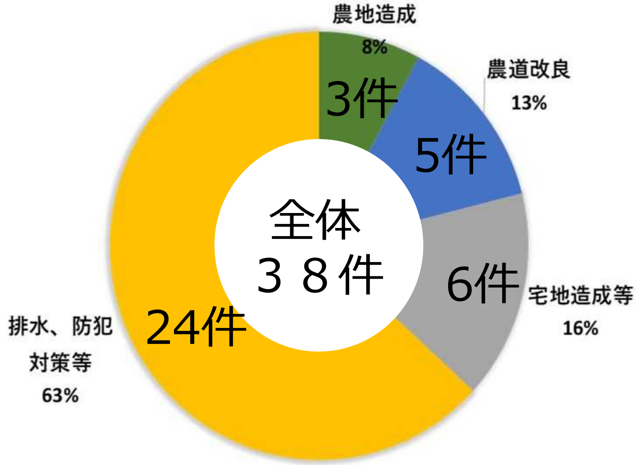


実施と達成

H27～R6で河道掘削（約46万m^3）を実施しました。

堆積砂利の掘削状況(H29)

砂利の仮置きの状況(H29)



砂利の利用状況(H29)

今後の予定

河道状況の変化を把握しながら、継続的に実施しています。

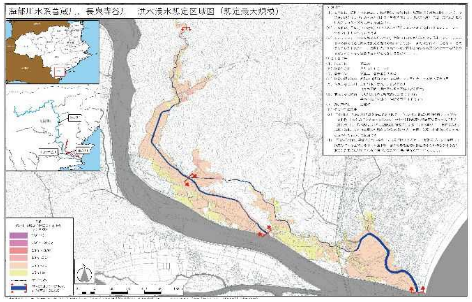
施設能力を超える洪水等への対応

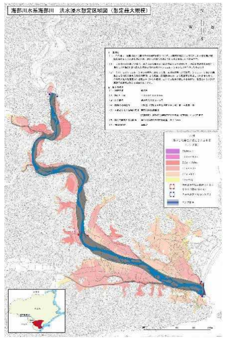
事業の概要

　洪水、津波、高潮等による被害の軽減を図るため、防災情報の充実、防災意識の啓発、ハザードマップ作製の支援を行うなどして、緊急時に円滑な水防活動、住民の安全な避難行動が行えるようにします。

実施と達成

＜水害リスク情報空白域の解消＞





＜住民目線に立った情報発信＞

徳島県公式LINEによるPUSH型配信

「河川監視カメラ」によりYouTube配信

＜防災出前講座の実施＞

＜住民への周知・啓発＞

＜水災害に関する減災会議＞

避難情報を発信する市町村とあらかじめ「避難判断」に関する「防災情報」を互いに共有

今後の予定

　流域全体の関係者が協力し合い、浸水被害の軽減を図るための流域治水を推進していきます。

海部川水系河川整備計画（変更）の経緯

1．現状（成果）

【海部川】

・堤防強化（漏水・耐震）護岸整備は**「完了」**
・河道掘削を**「実施中」**
・海部川モデルにより、堆積砂利を**「撤去中」**

【善蔵川】

・河道拡幅を**「実施中」**

【全エリア】

・施設能力を超える洪水等への対策として、
想定最大規模の**浸水想定区域図を公表**
「徳島県公式LINE」によるPUSH型配信
「防災出前講座・防災パネル展」の開催
「水災害に関する減災会議」を開催
・樋門の**無動力化を検討**

●海部川においては、整備計画に示す主な整備メニューが概ね完了間近

2．課題

【防災拠点の空白】

・吉野川上流域・下流域、那賀川流域では河川防災拠点の整備が完了したが、県南部は防災拠点の**「空白エリア」**

【南海トラフ】

・南海トラフを震源とする大地震の**発生確率が60～90%程度以上**と評価(R7.9)
・「南海トラフ巨大地震被害想定」(内閣府R7.3)を踏まえた津波浸水想定区域図を公表(R7.9)

3．対応方針

【河川防災ステーションの設置】

・津波発生時や大規模水害時に孤立を防ぎ、**復旧活動の拠点となる場所**が不可欠
・緊急輸送道路とのネットワークを考慮

1．方針

○海部川
・事業実施中であり、目標及び整備メニューに変更なし

○善蔵川
・事業実施中であり、目標及び整備メニューに変更なし

○河川防災ステーション・水防拠点等の整備（今回追加）
・河川防災拠点の空白エリアとなっている徳島県南部に、災害時における水防活動や応急復旧の拠点として、また、平常時においても河川情報の発信拠点等に活用できる防災ステーション等の整備を位置付け

2. 今後のスケジュール

令和８年３月　川づくり委員会①（変更原案公表）

令和８年度　パブコメ等
川づくり委員会②（変更案公表）
意見照会（関係機関）
河川整備計画変更

河川防災ステーション

①緊急復旧用資材備蓄基地
②災害対策車両基地
③車両交換場所
④ヘリポート
⑤洪水時の現地対策本部
⑥水防団の待機場所
⑦水防倉庫
⑧一般住民の避難場所

MIZBEステーション　【平常時】

平常時には、水防関係者や住民など、地域の関係者が活用し、地域の賑わい創出や地域活性化にも寄与

①滞在のしやすさ
駐車場、トイレ、テーブル、ベンチ等の休憩施設などの施設が充実

②地域連携
地域活性化、賑わいの創出に寄与するレクリエーション施設、地域振興施設、文化・教養施設、民間施設などが水防センターに併設・隣接

③アクセスのしやすさ
幹線道路に面するなどアクセスしやすい立地環境